

## 重点施策10 親しむ視聴覚教育の拡充と推進

### 【施策方針】

学校教育、社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、視聴覚の円滑な利用促進を図る。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 視聴覚教材の有効利用と指導者の養成
- ② 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

#### (2) 施策・事業の実施状況

##### ① 視聴覚教材の有効利用と指導者の養成

視聴覚ライブラリー教材を利用した「アンコール子ども映画会」を毎月1回、第4土曜日を中心に実施している。人間形成の大切な時期に視聴覚教材を通して、心豊かな人間性を養うことを目指して、親子で楽しい時間の機会を提供している。子どもたちの休日の有効活用や豊かな心を育む情操教育の一助になればと考えている。

26年度の利用者数は49名であった。また、幼稚園・保育所等へ出向いての「出前映画会」を実施し、4施設192人が視聴した。

愛媛県視聴覚教育協会が実施しているホームページ作成学習会、プレゼンテーション作成学習会、教育機器実技研修会(ビデオ、電子黒板)などの研修会に参加を呼びかけ、指導者としての資質向上を図っている。また八幡浜ビデオクラブとの技術研修の場を設けて、自作教材の創作活動を行っている。

##### ② 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

16ミリ映画フィルム167本、ビデオ教材718本、DVD教材61本を保有している。16ミリフィルムの貸出は無く、ビデオ・DVD等の貸出は10本あった。

機器で活用の多いのはパソコン対応型プロジェクターである。単に写すだけでなく、パソコンに接続し研修するケースが増え活用されている。

教材の充実については、厳しい財政事情の中、備品購入費が少なくなっている。

視聴覚機器は著しい進歩により、ビデオテープの時代からDVDさらにはブルーレイの時代となってきた。ビデオテープはテープの劣化、機器の生産中止などにより視聴できなくなりかけている。早急に視聴覚ライブラリー保管(著作権の有する物)の昔の映像をDVD化しなければならない。機会をとらえ、紹介するとともに、今後の活用について学校や公民館等に呼びかけたい。

### 【学識経験者意見】

- 情報化社会の中で、子どもたちの遊びがゲーム中心となり、生活スタイルが変化しているように思う。また、子どもたちだけでなく、親の生活スタイルも変化している。豊かな情操教育をしていくために、親子を対象とした映画会などは積極的に実施・継続してほしい。
- 視聴覚教材については、財政面のこともあると思うが、早急に使える新しいものに買い替える対応をお願いしたい。

### 【自己評価】

- 「アンコール子ども映画会」「出前映画会」ともに若干利用者が増えている。「アンコール子ども映画会」は親子の固定利用者がいる。また、「出前映画会」では、長期休業中の保育所と児童クラブの利用が大幅に増加している。今後も、子どもたちの情操教育を高め、健全育成を図るためには、継続していかねばならないと考えている。夏休みに、「みなと交流館ホール」で映画会を実施しているが、事前にチラシを配付するとともに、当日館内放送で呼びかけることにより、利用者が大幅に増加している。開催時期や回数等を検討しながら、継続していきたい。
- 視聴覚ライブラリーの貸し出し・活用件数が最も多いのは、パソコンとプロジェクターである。このことから、ビデオ教材からDVD教材へ移行していることがよくわかる。すべての教育活動の中で「ICTを活用した情操教育」が重要になってきている。財政面で厳しい時期ではあるが、何とか予算化に努め、ICT化を図りたい。